

## 竹川病院 伊東知葉、進藤美里、江藤康雄

功 績 電子カルテ入れ替えに対して多大な貢献を果たした功績。  
推 薦 者 リハビリテーションセンター長 山崎康太郎  
推 薦 理 由 電子カルテ入れ替えに対しての多大な貢献をしたため推薦します。

### 内 容

---

今回推薦の各氏は竹川病院における2022年の最大のプロジェクトと言える電子カルテの入れ替え対応においてそれぞれ多大な貢献をされたので、表彰対象として推薦します。

電子カルテは単独で動作するのではなく、多数の関係システムとの連携により業務の効率化に一段と寄与するものです。部門ごとに別個のシステムが関与する状況は非常に複雑であり、すべてのシステムを把握しているものはほぼ皆無に近いなか、IT担当の総務江藤氏は各方面との対応を担い準備を支えた功労者であります。院内の各部署との調整については各部署それぞれが見える範囲での要望を出す中で、その圧に耐えて調整を進めたことも慰労に値します。

栄養科進藤氏は休職者や退職者が散発し現場業務が多忙を極める中、主任の不在を埋めて新システムへの着陸を調整する役割を見事果たしたばかりか、新システムの効率化を図るための提案や連携を積極的に働きかけ、新システム導入の本懐である業務の効率化に貢献しています。部門内での発信にも努められており、新たなリーダーとしての風格を備えてきています。

薬剤科伊東リーダーもまた本人の実稼働が増えざるを得ない状況の中、すべての会議に出席し、積極的な提案や先回りした状況想定の手引きを行いつづけています。その気づきにより、多くの不具合の発生を未然に防いだことは間違いありません。自部署の立場からだけでなく関係する他部署の目線でシステムを理解し、実際に手を動かして検証するなど、新システムの導入という難易度の高いプロジェクトの中で理想的な動きをされ、切り替え稼働後も効率的な業務の提案を行い続けています。その先見性や協調性は全職員の模範となる水準であると考えられ、惜しむらくはその働きを知る者が多くないことです。

その他にも今回の一件では多数の功労者が挙げられますが、上記3名はこと功績が顕著と考えられます。